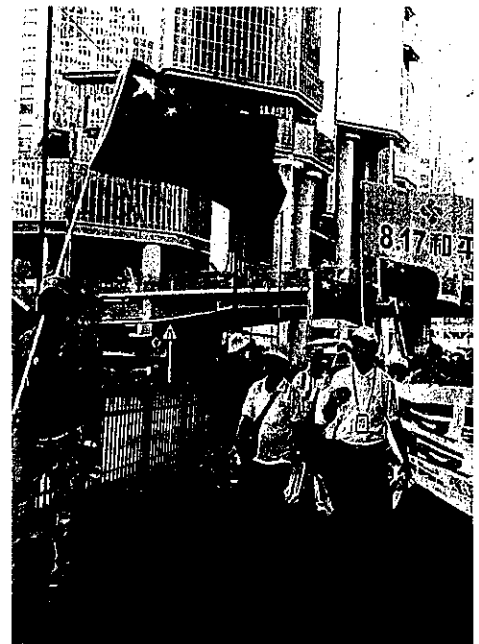


YOMISAT

中国・アジア

親中派、



香港島中心部で17日、中国国

姿が目立っていたが、今回は年配者が多かったようだ。「7・1デモ」は自主的に参加する個人が多かったが、今回は組織的だった。団体や企業の名前が印字されたシャツや帽子をかぶり、組織名が書かれた横断幕を掲げて団体ごとに行進。広東語のほか、普通話(標準中国語)や、どこかの方言を話している人が少なくなくなった。沿道では、無料で飲料水も配布された。

た。香港人の友人は、「本心とはうらはらに、生活や利益のために演じる姿は、ドラマを見ていたようだ」と評した。香港で中国の影響力が強まる中、民主派は自由が狭まる動きに反発を強める。親中派は中国に依存した「安定」を求めたい。そんな両者の立場が対立を深めているといえる。今後、双方の対決姿勢が一段と強まり、社会の亀裂が深まることが懸念される。

瀋陽生活の「何でも屋」



はしもと まさゆき
橋本 雅之さん 39



瀋陽に暮らす日本人や日系企業をサポートするサービスクラ社「七星楼」を経営する。「何でも屋」を自任し、観光ガイドや文書の翻訳から、瀋陽進出を検討する企業向けの市場調査、人捜しまで依頼を受ければ何でも対応してきた。「瀋陽をもっと、日本人にとって住みやすい場所、魅力的な場所にしたい」という強い思いがある。

「中国のどの辺りにあるのかも分からなかった」という瀋陽を初めて訪れたのは20

05年。中国人の妻との結婚を前に、実家にあいさつするためだった。調べてみると、瀋陽はかつて「奉天」と呼ばれ、多くの日本人が暮らしていた歴史を知った。「歴史的に日本と密接な関係がある街なのに、今の日本人には知名度が低い」と疑問を抱くと同

時に、「日本と瀋陽をつなげるような仕事をしたい」との思いがこみ上げ、07年に日本人の仲間と共に「七星楼」を設立した。

当初は観光案内など瀋陽の情報発信に力を入れた。次第に観光ガイドや企業視察のアテンドといった依頼が入るよ

日本人や日系企業のサポート会社経営

略歴 1974年、東京都北区生まれ。中学卒業後建設会社や運送会社などで勤務しながら夜間高校に通い、大検に合格。25歳で東洋大学経営学部に入學し、卒業後は広告会社などに勤務。06年に結婚した妻・秋徳さんとの間に2女。

うになった。「もっと多くの日本人や日系企業に瀋陽へ来てもらうためには、瀋陽での生活を充実させる必要がある」と考え、事業の拡大を進めた。

昨年には、瀋陽の大学に通う日本人学生と、瀋陽で事業をしている日本人経営者を引き合わせる交流会を作った。「卒業後も瀋陽で就職したいので日系企業を紹介してほしい」という学生からの相談がきっかけだった。また、「瀋陽の外に出たことがない」という駐在員の話を聞き、「瀋陽旅行会」も今春に作った。瀋陽は単身赴任者の割合が高く、一人での旅行に踏み切れない人も多い。これまで2度実施したツアーには、各20人ほどが参加した。

次の構想は、長く瀋陽に住んでいる人と、新しく来た人が交流できる場を作ることだ。「上海や大連に負けないくらい、瀋陽の日本人社会を盛り上げたい」と張り切っている。

(瀋陽 蒔田一彦、写真も)